



IFIAR を通じた資本市場の信頼性確保へのイニシアティブ

中長期的な企業価値向上とその恩恵が還元される好循環を支える基盤として、資本市場の信頼性の確保が不可欠である。このためには、マーケットガバナンス¹を高めることが重要であり、監査の一層の機能発揮が求められる。また、経済のグローバル化が進む中、一国における監査機能の増進には、各国・地域の当局の国際的な協働が必要となっており、これがひいては、国際的な市場の信頼性確保につながることを期待される。

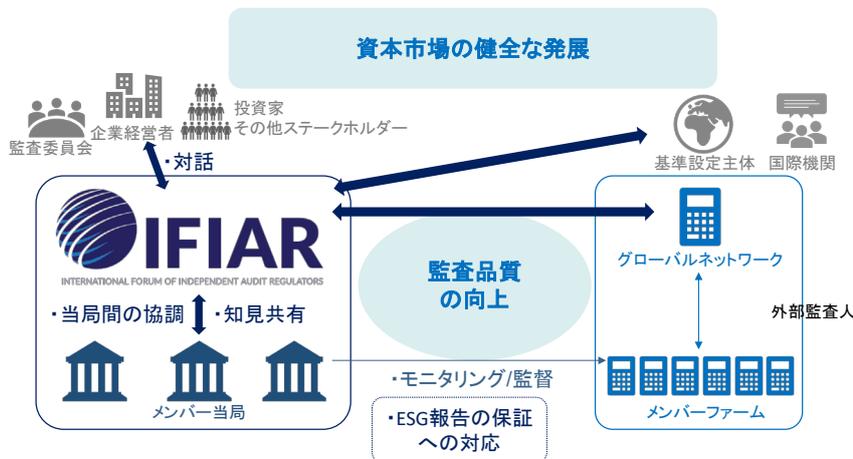
こうした中、グローバルな監査品質の向上を目指す IFIAR²の重要性が高まっている。IFIAR は、我が国に本部を置く初の金融関係国際機関であり、2023 年 4 月には、長岡 隆 公認会計士・監査審査会事務局長が議長に選出され、我が国はホスト国・議長国として、グローバルな監査品質の向上に向けた議論を主導している。

IFIAR では、グローバル市場で大きな役割を担う 6 大監査ネットワーク³の経営陣等と定期的に対話し、質の高い監査の実施を促進している。また、各国・地域の監査市場に共通する課題への能動的な対応の一環として、監査の担い手が大手から中小規模の監査法人に異動するトレンドも見られる中、中小規模の担い手の監査品質の維持・向上についても議論を進めている。加えて、サステナビリティ保証や AI 等のデジタル技術の活用という新たな論点についても、グローバルでの対応方法について議論をしている。

2024 年 4 月に大阪で開催された本会合⁴では、これらをはじめとした監査をめぐる重要なテーマについて活発な議論が行われ、日本の方針や取組を積極的に発信した。また、同期間、並行して会計士業界等によるイベント等が開催され、多様なステークホルダーが一堂に会し、活発な意見交換や知見共有を行った。

このように、我が国の問題意識を積極的に国際的な議論の俎上に乗せつつ、国際的な議論の成果を国内に還元する好循環を通じて、国内及び国際的な監査品質の持続的な向上を図り、マーケットガバナンスの十全な機能発揮に取り組んでいく。

(図表) IFIAR の機能



(資料) 金融庁作成

¹ 「マーケットガバナンス」は多義的に利用されているが、ここでは、市場参加者による市場規律に加え、市場規律が自律的に働く環境を担保する監査法人等の機能までを広くマーケットガバナンスとしてとらえている

² 監査監督機関国際フォーラム：International Forum of Independent Audit Regulators (IFIAR (イフィアール))

³ Deloitte Touche Tohmatsu, Ernst & Young, KPMG, PricewaterhouseCoopers, BDO 及び Grant Thornton

⁴ 2017 年 (東京) 以来の日本開催となった